

報道関係各位

今年から新会場に移転、来場者数平均約140%増(対前年) 第11回文化庁メディア芸術祭、12日間で、来場者44,524名

去る2月6日(水)より、国立新美術館(東京・六本木)にて一般公開しております、第11回文化庁メディア芸術祭(主催:文化庁・国立新美術館・CG-ARTS協会)が17日(日)に無事終了し、^{※1}12日間で、合計44,524名の来場がございました。

^{※1}2月5日(火)の贈呈式および内覧会を含む。12日は休館日。

	2/5(火) 贈呈式・内覧会	2/6 (水)	2/7 (木)	2/8 (金)	2/9 (土)	2/10 (日)	2/11 (月・祝)	2/13 (水)	2/14 (木)	2/15 (金)	2/16 (土)	2/17 (日)	累計
全 体	731	1,215	1,837	2,325	3,091	5,769	6,309	2,236	2,921	3,053	6,799	8,238	44,524
展 示	内覧257	1,215	1,670	2,084	3,091	5,350	5,606	2,236	2,584	2,782	6,372	7,563	40,810
講 堂	式典474	-	167	241	-	419	703	-	337	271	427	675	3,714

昨年までの写真美術館(東京・目黒区)から移転し、約2倍の広さと高い天井により、1フロア内で全ての作品が鑑賞できるようになりました。

また、一日平均の来場者数が、昨年比約140%増の**3,687名**(昨年は2,636名)で、アジアを始め海外からの来場者も目立ちました。他の海外でのアートフェスティバルと比較しても、日本を代表するフェスティバルとして遜色ないレベルになってきた結果ではないかと考えております。

【参考】

▶海外の代表的なメディアアートフェスティバル

- ・Ars Electronica 2007 (オーストリア・リンツ) (5日間) 来場者数 31,500名
- ・SIGGRAPH 2007 (アメリカ・サンディエゴ) (6日間) 来場者数 24,043名

▶国内における日本の作品展覧会

- ・第33回日展(国立新美術館) 2007/11/2～12/9(33日間) 一日平均 5,700名
- ・男鹿和男展(東京都現代美術館) 2007/7/21～10/1(66日間) 一日平均 4,365名
- ・笑い展:現代アートにみる「おかしみ」の事情(国立新美術館) 2007/1/27～5/6(100日間) 一日平均 3,484名
- ・特別展「大ロボット展～からくりからアニメ、最新ロボットまで～(国立科学博物館) 2007/10/23～2008/1/27(81日間) 一日平均 3,165名

▶公式ウェブサイトアクセス数 (<http://plaza.bunka.go.jp/>)

- ・受賞作品発表からメディア芸術祭終了まで(2007/12/4～2008/2/17) アクセス数 2,726,718PV
月間平均 約125万PV (1日平均 4,1715PVより計算)

CG-ARTS協会 広報 篠原・千葉

TEL 03-3535-3501

広報分室 友野・安藤 (ブランデックス・ジャパン)

TEL 03-3564-2361

URL:<http://plaza.bunka.go.jp/>

E-mail info@cgarts.or.jp

【来場者のコメント】

- ・アートやエンターテインメント部門は斬新なものが多く、体験できて面白かったです。
(30代女性、東京都)
- ・触れて、見て、感じることができ、とても楽しい。1日かけてじっくり見たいと思った。
(60代女性、東京都)
- ・また来ます。来年も来ます。頑張ってください。(10代男性、神奈川県)
- ・実際に体験できる作品は、家族で楽しめるのでとてもよかったです。(40代男性、沖縄)
- ・受賞作品の絵コンテや原画が見られて、とてもうれしかったです。(20代女性、岡山県)
- ・日本の美術館や映画館は有料で高いのが一般的なのに、最先端の素晴らしい作品が、無料で鑑賞できるということが素敵です！(20代女性、京都)
- ・SIGGRAPH エレクトロニックシアターの上映が非常に素晴らしい。来年もお願いします。
(30代男性、東京都)

【第11回 文化庁メディア芸術祭 開催概要】

会期 2008年2月6日(水) - 2月17日(日) 10:00 - 18:00

会場 国立新美術館(入場無料)

URL <http://plaza.bunka.go.jp/>

主催 文化庁メディア芸術祭実行委員会[文化庁・国立新美術館・CG-ARTS 協会]